



9月12日(月)に第1回全校授業研究会(高等部)、10月4日(火)に第2回全校授業研究会(小学部)を行いました。どちらの提示授業でも友達に意見(気持ち)を伝えたり、友達の表現を待ったり受け止めたりする姿が見られた授業であったと思います。これは、お互いに認める、認められる機会の一つであり、どの発達段階においても、承認機会が多くあることで、自分らしさに気付いたり、自己実現への一歩を踏み出す原動力となったりすると考えます。

今回は、10月の学習目標との関連から認める、認められる実感につながる例を掲載します。



**友達に意見を伝えたり、友達の考えを聞いたりするための土台
⇒日頃から認められていると感じられること**

☆認められていると感じられるためには？

関わり方

…児童生徒は、日頃から教師をよく見ています。教師が見本になるように！

呼名

○君、○さんをつけるのはあたり前のことで、生活年齢に応じた呼び方をするすることで、高等部生徒は、大人の一員として認められている感覚がもてます。「お前」なんて呼び方は問題外です。

会話

笑顔を見せながらの挨拶や「ありがとう」「お疲れ様」「助かるな」という感謝の言葉を受けることで、心が若干温くなる感覚をもてることがあります。

言葉遣い

「うるさい」「にぎやか」では、同じような内容でも受ける印象が違います。「にぎやかなので静かにしてください」と言われると、静かにしようという気持ちになることがあります。

聞き方

子どもたちにも言っているように人の話は目を見て、顔や体を向けて聞くことで聞いてもらっているという実感が湧きます。そして、相づちを打つとなおさら実感に結び付きます。ベストな相づちは「あいのソナタ」と言われています。ベストな相づち：「◎そうなんだ」「◎なるほど」「◎たしかに」

参考：聞く力 ダイアモンド社

環境

…目で確認できたり、雰囲気を感じられたりする環境設定が大切です。

よいところ探し

様々な学習で行われている自分や友達のよいところを見付ける学習。学期末や行事などの節目に行くこともできますが、毎日の帰りの会で「今日のきらり」として教師から伝えることもできます。また、見付けたものは、目で見える形にしていることも嬉しいものです。



みんなで意見を集めたり↑
手紙にしたり↓と形は様々。

○○さんへ
○○さんのよいところは
○○より

学習(役割)の意味

自分の役割の意味が分かっていると所属している集団の中で承認されている実感につながりやすくなります。

居場所

ゆっくり過ごせたり、誰かと話ができたりと自分が落ち着いて(安心)して過ごせる場所があるのも承認されている実感につながります。

